

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	児童館・児童センター(63館)	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 1,210,198人 (前年度比 111.2%) 令和4年度 1,088,020人 令和3年度 1,019,167人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 2,112,110千円 (2,008,159千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>(児童健全育成事業)子どもの意見を尊重する取組を行いました。館まつりでは、子どもたちがコーナーの企画・準備・運営に携わり、協力してやりたいことを実現する喜びを感じる機会になりました。普段の遊びや生活についても、どんな風に遊ぶか、困ったことが起きた時にどうしたらよいかを子どもたち自身が考え、意見を反映できるように、「子ども会議」や「キッズスタッフ」の活動の場を設け、個々の成長を感じられる一年となりました。(子育て家庭支援事業)区家庭健康課や近隣館と連携した「うえるかむ赤ちゃん講座」では、初妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠中の過ごし方や産後の生活について学ぶ機会としました。その他、年齢区分を分けた遊びや季節の行事を行い、子育ての悩みや喜びを共有し、親どうしも職員もみんなで一緒に子どもの成長を見守っていく場となりました。(地域交流推進事業)小学生がレポーターとして地域の名所等を周り、映像記録する「まちのトレジャー・レポーター」では、併設市民センターと共催し、地域の方々との交流を通して自分たちが住む地域への理解を深めました。また、留学生との異文化交流や高齢者施設の訪問等、地域資源を活用した社会性を育む交流行事を行いました。(放課後児童健全育成事業)子どもたちの主体性を育む取組を行いました。4月の始まりの会では、高学年児童が各部屋での過ごし方を新1年生に教えたり、自由遊びの時間では、学年問わず、みんなで遊びの内容や時間を決めたりする等、子どもたち自身が考え、選択して実践する場を設けました。(その他)児童館合同行事「第10回児童館フェスタ～みんなで育む遊びの杜！～」は、初めてせんだいメディアテークと定禅寺通中央緑道で開催。他団体2館と大学生にも協力いただき、屋外での運動遊びも含め、児童館のいつもの遊びを親子でたくさん楽しんでいただき、職員間の交流による実践的な研修の場にもなりました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の管理運営については、指定管理者が策定した全館共通の各種マニュアル等に基づき適切に行われ、いずれの館も必要な水準を満たしている。施設や設備の維持管理も日々確実に行われており、利用者が安全安心かつ快適に過ごせる環境を整えている。また、各種研修の実施により、職員の研鑽を重ねている他、利用者アンケートの実施や運営委員会等で得た意見を活かし児童館運営の質の向上に努めている。いずれの館においても全ての事業について安定したサービスを提供しつつ、新規利用者の増加や利用者の満足度向上に向けて、新たな行事等の検討や課題点の改善等に取り組んでおり、それぞれの地域特性や子どもの興味関心を捉えた日常プログラムや行事の展開等、更なる児童館事業の充実が期待できる。</p> <p>児童健全育成事業においては、地域人材や周辺環境などの資源を有効に活用した各児童館の特色を出しながら事業を展開している。運動遊び、自然体験、社会体験、近隣の施設との連携事業等を通して、地域交流や世代間交流を図り、様々な体験を通して子ども達が心身ともに豊かに成長できる機会を多く作り、地域の子どもにとって居心地の良い居場所になるよう努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、行事開催や日々の利用を通じて、乳幼児の心身の健康や発達を促すとともに、保護者同士の交流や情報提供、相談の場等を提供している。また、子育て支援施設、地域の諸団体、行政機関等と連携し子育て家庭を見守る支援ネットワークの構築に取り組んでいる。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域の多世代が交流できる児童館の特性を活かし、多様なプログラムを提供している他、近隣児童館・市民センター等と連携した取組みや親子が地域とつながる機会となる土曜日事業の充実にも努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、日々子どもの思いを受け止め、子どもが主体的に生活できるように子どもと一緒に遊びや生活の流れを組み立て、改善・工夫しながら生活づくりを行っている。また、子どもの様子等を保護者へ適切に伝え、家庭と連携し、一人ひとりの子どもの特性に応じた支援が行われている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課